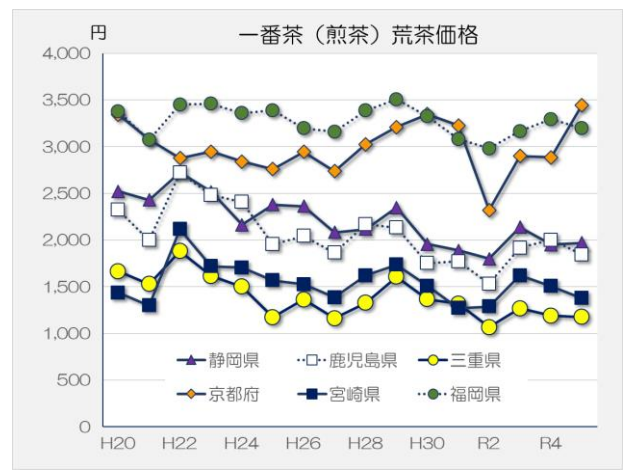


課題

- ・三重県は全国第3位の生産量を誇る茶産地であるものの、その茶単価は、先行する他産地の生産や売買の影響を強く受け、**他府県産と比較し低単価で取引**される傾向にある。
- ・茶生産だけでなく、茶工場運営に係る経費も高騰するなか、茶単価の低迷は、生産者の生産意欲を著しく減じるだけでなく、茶工場維持の大きな足かせとなっている。

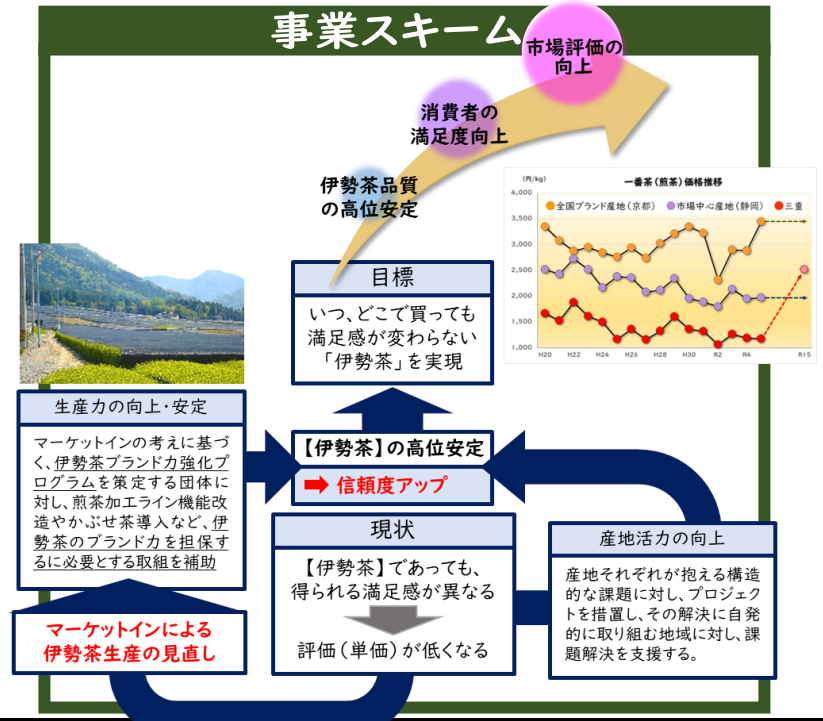


目的

【伊勢茶】のブランド力強化に向けた生産体制の改造に取り組み、**他産地の動静に左右されない販売を実現**することで、**茶農家の経営を安定**させるとともに、**伊勢茶産地の活力強化**を図ります。

取組内容

- 産地構造改革プロジェクト展開事業
伊勢茶産地の活力強化に向けて、現在、産地の構造改革を進めている四日市市水沢地区を始めとする各地区の地域課題の解決が進むよう、既存地区のプロジェクトの活動を重点的に支援する。併せて、新たに産地の構造改革に取り組む地域の掘り起こしを進める。
- 伊勢茶ブランド活力強化体制構築事業
マーケットインの発想で茶販売関連業者とともに定める計画（伊勢茶ブランド活力強化プログラム）に従い、煎茶加工ライン機能改造やかぶせ茶栽培の導入など、【伊勢茶】のブランド力を高める生産体制の改造に係る取組の経費の1/2を補助する。



事業効果

- 消費拡大
・マーケットインの発想で生産製造された伊勢茶によって、消費者が高い満足感を得ようになることで、売り場で選ばれる伊勢茶が実現します。
- 所得向上
・三重県産茶葉の市場評価が安定することで、茶販売事業者の取引が活発となった結果、茶農家の農業所得が向上します。

【目標指標】
伊勢茶ブランド
活力強化プログラム策定団体
5団体/年